

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 6月29日	作成者名	梶山 浩	評価者名	松山 由紀
-----	------------	------	------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	こども青少年部・児童青少年課
分野	02 児童・青少年育成	関係課	こども青少年部・児童青少年課
施策	05 児童・青少年の健全育成		
施策の目的	児童・青少年の積極的な社会活動への参加を通じて、社会の一員としての自覚を促し、家庭・学校・地域・行政が一体となり、児童・青少年が健全に成長できるようにします。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	放課後子ども教室事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
放課後子ども教室参加児童延べ人数	参加児童延べ人数	人	11,904	11,050	12,884	11,474	10,888	8,691	0
地区子ども会の加入児童数	地区子ども会の加入総数	人	2,417	2,300	1,952	2,103	1,991	1,730	2,149
通学合宿を実施する団体数	通学合宿を実施する団体数	団体	6	3	3	3	2	2	0
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>放課後の子供たちの遊びや生活の場の確保が必要であり、それを支援するボランティア等の育成・確保が課題である。</p> <p>青少年の健全育成には、学校、家庭、地域社会の連携が重要である。近年、青少年の放課後の居場所や体験学習の機会が減少しており、その「場」や「機会」の提供が求められている。</p> <p>また、市民意識の変化により、子ども会の加入総数も減少傾向にある中、活動内容等を広くPRし、少しでも減少を抑えられるような取り組みが必要である。</p>	対応策	<p>地域への働きかけや近隣の高校・大学等にも声掛けを行い、青少年に係わる人材を発掘していく。同時に、継続できるしくみについても検討する。</p> <p>また、地区子ども会の加入促進については、子ども会育成連合会を支援し、リーダー育成の活動内容等を市も協力して行う。さらに、市ホームページ、ポスターやチラシ等により加入の促進を図っていく。</p>
----	--	-----	---

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	放課後子ども教室については、令和元年度末からの新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度は実施できなかった。通学合宿についても同様に中止となった。地区子ども会加入人数は増加したが、コロナ禍で事業に参加することが難しく、また、団体も担い手の固定化など事業継続への不安要素もあり、方向性の検討が必要である。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	保護者や子どものニーズを的確に把握し、内容の改善・充実に努めていく。しかしながら、コロナ禍の他、放課後子ども教室については空き教室の問題や、地域活動については保護者の就労の増加等による児童の生活の変化があり、見直しも必要である。コロナ禍の中で放課後子ども教室については、今後、三密を避けた事業のあり方を検討していく。

## (評価者コメント)

児童・青少年の健全育成は大変重要な施策であるが、社会状況や青少年の行動・活動の変化さらにはコロナ禍もあり、既存の事業では対応できなくなっている状況がある。しかしながら、児童・青少年が身近な地域で同世代と遊びを通じて得るものは多く、今後も、家庭・学校・地域・行政の連携のもと、現事業の整理を含め、新たな事業展開を模索していきたい。
--

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 6月29日	作成者名	梶山 浩	評価者名	松山 由紀
-----	------------	------	------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費  うち 一般財源				
		事業コード		R 3 計 画 額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コメント						
		事業内容					R1決算額										R2予算額			
							事業費										うち一般財源			
01 青少年育成事業 (児童青少年課)																				
01	放課後子ども教室事業		任意	6,093	1		B	A	A	B	1	B	安全な事業運営を目指し、ボランティアスタッフの拡充を推進し、安定的な運営を図っていく。	7,624						
	01   10   04   03   01   01			9,649										7,624	3,143					
	放課後や週末等に小学校の 余裕教室・校庭・体育館等を			1,998										5,821						
02	青少年健全育成事業		任意	5,967	4		A	B	B	B	4	A	新型コロナの影響も含め、今後事業の在り方を整理していく。令和3年度より青少年教育事業を統合	12,978						
	01   10   04   03   01   02			7,715										12,978	12,975					
	青少年に対する各種啓発事業 や地域の巡回補導を実施し、			12,978										15,613						
94	青少年教育事業		任意	4,586	8		A	B	B	B	8	B	令和3年度より青少年健全育成事業へ統合するため、令和2年度で廃止。	0						
	01   10   04   03   01   94			5,047										0	0					
	青少年団体の活動支援として 、青少年祭り、通学合宿、三			0										0						
計 (千円)																				
				事業費			16,646				22,411		20,602	20,602						
				うち一般財源			16,641				16,780		14,976	16,118						

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
7 令和3年度で終了    8 令和2年度で終了    9 令和元年度で終了